

科目名	設計演習 2							年度	2025
英語科目名	Architectural Design Studio 2							学期	前期
学科・学年	建築設計科・2年次	必/選	必修	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	小林 郁夫		教員の実務経験	あり	実務経験の職種	建築設計			
【科目の目的】 <ul style="list-style-type: none"> RC造またはS造の中規模建築物を設計できる 地域の特性をいかして、快適で機能的な公共建築物を計画できる グループワークを通して、協働することで大きな成果を得ることができる 									
【科目の概要】 <p>建築行為が社会に与える影響や役割を考えながら、公共建築物を計画する力を習得することを目的とします。考える・まとめる・やり遂げるという学習を採り入れ、考える力を養い、スケジュール管理をすることの重要性を学ぶ。</p>									
【到達目標】 <p>A. 敷地周辺、地域の特性などを調査・分析・検討し、建築物を計画ができる B. 表現する方法・作品をまとめ上げる力を習得することができる C. さまざまな考えや意見をくみ取り、建築物を計画ができる</p>									
【授業の注意点】 <p>評価はルーブリックにもとづいて行い、指導教員等により講評会において評価を行う。 学生による自己評価及び相互評価も実施する。</p>									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5		レベル3		レベル1				
	優れている		ふつう		要努力				
到達目標 A	敷地周辺、地域の特性などを調査・分析・検討し、設計に反映させて機能的な建築物を計画できる		敷地周辺、地域の特性などを調査・分析・検討の重要性を理解している		敷地周辺、地域の特性などを調査・分析・検討することができない				
到達目標 B	表現する方法を理解し、作品をプレゼンシートにまとめ上げることができる		表現する方法を理解し、作品をプレゼンシートにまとめ上げること理解している		表現する方法を理解し、作品をプレゼンシートにまとめ上げることが難しい				
到達目標 C	さまざまな考えや意見をくみ取ることの重要性を理解し、建築物を計画ができる		さまざまな考えや意見をくみ取ることの重要性を理解している		さまざまな考えや意見をくみ取ることの重要性を理解する姿勢がない				
到達目標 D									
到達目標 E									

【教科書】 建築デザイン製図/学芸出版社 コンパクト建築設計資料集成/日本建築学会						
【参考資料】 その他配布資料						
【成績の評価方法・評価基準】 成果品等で評価する 出欠席および授業の通り組み姿勢で評価する						
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。						
科目名		設計演習 2			年度	2025
英語表記		Architectural Design Studio 2			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	練習課題 ゾーニング	利用者と部門の すみわけ	1 部門	部門構成と公開・非公開部分を理解している	1	
			2 機能	機能と利用者動線の重要性を理解している		
			3 図面表現	RC造・S造（ラーメン）の図面表現の仕方を理解している		
2	練習課題 エスキス	構造・法規・設備の 理解	1 スパン・メンバー	経済スパンで適切なメンバーで計画ができる	1	
			2 避難経路	災害時の安全の確保について計画できる		
			3 設備	各設備室とダクトの関係性を理解できる		
3	練習課題 長期課題	講評会 ／課題説明	1 他者との比較	標準的なラーメン構造の建築物を計画できる	2	
			2 課題概要	課題の趣旨や目的を理解している		
			3 アプローチ・外構	主・従アプローチを見極め、外構が計画できる		
4	長期課題 エスキス	敷地調査の重要性の 理解	1 敷地調査	敷地及び周辺環境の調査の必要性を理解している	1	
			2 類似施設	類似施設を調査の必要性を理解している		
			3 考察	さまざまな問題点を分析・検討することができる		
5	長期課題 エスキス	設計主旨を理解し、 オリジナルの作品を つくる	1 まとめるちから	考察したことを基に、まとめ上げることができる	1	
			2 エスキス	エスキスを提出し、教員の師事を仰いでいる		
			3 表現力	自分の考えを言葉や図面で表現することができる		
6	長期課題 エスキス				1	
7	長期課題 エスキス				1	
8	長期課題 中間発表	課題の趣旨・内容を 理解している	1 スケジュール	スケジュールを守り、計画できる	2	
			2 コンセプト	緒条件を整理しコンセプトをまとめ上げ、計画できる		
			3 機能・動線	機能と利用者動線を理解し、計画できる		
9	長期課題 エスキス	エスキスの最終 調整	1 エスキス	指摘された内容を基に、的確に建築物を計画できる	1	
			2			
			3			
10	長期課題 作図	図面の整合性	1 図面	図面の整合性が取れている	1	
			2 構造・設備	図面上に構造・設備などの表現ができる		
			3			
11	長期課題 作図	図面の整合性	1 図面	図面の整合性が取れている	1	
			2 構造・設備	図面上に構造・設備などの表現ができる		

			3				
12	長期課題 作図・模型	図面の整合性・ 模型の丁寧さ	1	図面	図面の整合性が取れている	1	
			2	構造・設備	図面上に構造・設備などの表現ができる		
			3	模型	丁寧に模型を押し上げることができる		
13	長期課題 作図・模型	図面の整合性・ 模型の丁寧さ	1	図面	図面の整合性が取れている	1	
			2	構造・設備	図面上に構造・設備などの表現ができる		
			3	模型	丁寧に模型を押し上げることができる		
14	長期課題 作図・模型	図面の整合性・ 模型の丁寧さ	1	図面	図面の整合性が取れている	1	
			2	構造・設備	図面上に構造・設備などの表現ができる		
			3	模型	丁寧に模型を押し上げることができる		
15	長期課題 最終提出	作品を展示し、図面 や模型の表現力など を確かめる	1	提出物の完成	提出物に過不足なくつくり、期限内に提出している	3	
			2	設計条件	課題の趣旨に合わせて計画できる		
			3	他作品の評価	他者の作品を見て、評価および共感ができる		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							